



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 全県規模のイベントや事例集を作成し、新たなメンバーや若者会議の拡充により、若者の社会参加が促進され、地域がより活性化されることが期待できる。

指標名	若者会議への参加人数	指標の種類
指標式	若者会議への延べ参加者人数	成果指標 業績指標

指標								
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a			330					
実績b		299	データ等の出典					
東北	男女共同参画課調べ							
全国								
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標名		指標の種類						
指標式		成果指標 業績指標						
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a								
実績b		データ等の出典						
東北								
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性  
 少子高齢化が進む本県にとって、将来を担う若者が社会参加し、地域の課題等に主体的に取り組む必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性  
 将来を担う若者の積極的な社会参画は、さらに進むであろう少子高齢化等で課題を抱える本県にとって重要である。

事業の県関与の必要性  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの  
 全県単位での若者の参加や交流が必要であるため、県が関与する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業      その他